

# 平成 30 年度 病院事業決算状況

都道府県名 京都府

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	洛南病院	2
-	与謝の海病院	3
福知山市	福知山市民病院	4
福知山市	福知山市民病院 大江分院	5
舞鶴市	舞鶴市民病院	6
綾部市	綾部市立病院	7
亀岡市	市立病院	8
京丹後市	京丹後市立弥栄病院	9
京丹後市	京丹後市立久美浜病院	10
精華町	国保病院	11
京丹波町	国保京丹波町病院	12
国民健康保険南丹病院組合	京都中部総合医療センター	13
国民健康保険山城病院組合	京都山城総合医療センター	14

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	京都府
		市町村・組合名	
		病院名	洛南病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,227 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨
診療科数	1	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	256	64.5	65.9	73.5
感染症	-	-	-	-
計	256	64.5	65.9	73.5
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,610,353	
決算規模(千円)	841,043,822	
標準財政規模(千円)	501,946,783	
財政力指数	0.58357	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.1
	将来負担比率(%)	287.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.6
修正医業収支金額(千円)	1,717,017

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,513,464			
1 経常収益	2,511,940			
(1) 医業収益	1,740,047			
入院収益	1,381,451			
外来収益	328,290			
診療収入計	1,709,741			
その他医業収益	30,306			
(うち他会計負担金)	23,030			
(2) 医業外収益	771,893			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	761,402			
(うち長期前受金戻入)	3,762			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,524			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,514,952			
2 経常費用	2,514,667			
(1) 医業費用	2,466,238			
職員給与費	1,751,807	100.7	56.0	96.0
材料費	200,776	11.5	24.1	8.6
(うち薬品費)	150,715	8.7	12.6	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	7,672	0.4	11.1	1.0
減価償却費	89,276	5.1	9.2	12.5
経費	415,719	23.9	23.2	34.0
(うち委託料)	190,037	10.9	11.3	16.5
研究研修費	5,829			
資産減耗費	2,831			
(2) 医業外費用	48,429			
(うち支払利息)	2,281	0.1	1.6	3.2
(3) 特別損失	285			
損益				
経常損益	-2,727			
純損益	-1,488			
累積欠損金	4,285,333			
経常収支比率	99.9		98.2	100.0
医業収支比率	70.6		88.3	65.9
他会計繰入金対経常収益比率	31.2		12.5	34.0
他会計繰入金対医業収益比率	45.1		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	31.2		12.5	33.9
実質収益対経常費用比率	68.7		86.0	66.0

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,727,008
1 固定資産	2,511,647
(1) 有形固定資産	2,484,876
(2) 無形固定資産	2,881
(3) 投資その他の資産	23,890
2 流動資産	2,215,361
(1) 現金及び預金	1,959,560
(2) 未収金及び未収収益	247,550
(3) 貸倒引当金( )	528
(4) 貯蔵品	8,779
3 繰延資産	-
負債合計	905,115
1 固定負債	438,022
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	401,862
(2) その他の企業債	31,160
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	384,117
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	46,790
(2) その他の企業債	2,280
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	120,180
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	201,735
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	82,976
(1) 長期前受金	209,959
(2) 長期前受金収益化累計額( )	126,983
資本合計	3,821,893
1 資本金	25,716,728
2 剰余金	-21,894,835
(1) 資本金剰余金	334,644
(2) 利益剰余金	-22,229,479
負債・資本合計	4,727,008
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	783,341	784,432
資本勘定繰入	-	-
計	783,341	784,432

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1277.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	京都府
	市町村・組合名	
	病院名	与謝の海病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,610,353	
決算規模(千円)	841,043,822	
標準財政規模(千円)	501,946,783	
財政力指数	0.58357	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.1
	将来負担比率(%)	287.9

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	30,579			
1 経常収益	30,579			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	30,579			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	30,579			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	30,579			
2 経常費用	30,579			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	59.3
材料費	-	-	24.1	19.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	-	-	9.2	10.3
経費	-	-	23.2	27.6
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	30,579			
(うち支払利息)	30,579	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	17,944,146			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	-		86.0	83.4

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	20,383	30,579
資本勘定繰入	79,512	119,268
計	99,895	149,847

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1277.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	京都府
	市町村・組合名	福知山市
	病院名	福知山市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	32,284 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感へ災
診療科数	27	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	340	94.0	96.0	95.2
療養	-	-	-	-
結核	10	10.0	8.2	8.4
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	354	90.6	92.4	91.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	13.1	13.0

設立団体の状況		
人口(人)	78,935	
決算規模(千円)	41,574,814	
標準財政規模(千円)	23,658,374	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	96.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	64.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	98.7
修正医業収支金額(千円)	11,228,147

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,188,674			
1 経常収益	12,188,674			
(1) 医業収益	11,486,938			
入院収益	6,953,568			
外来収益	3,691,941			
診療収入計	10,645,509			
その他医業収益	841,429			
(うち他会計負担金)	258,791			
(2) 医業外収益	701,736			
(うち国・都道府県補助金)	42,830			
(うち他会計補助・負担金)	512,262			
(うち長期前受金戻入)	66,567			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,160,959			
2 経常費用	12,086,958			
(1) 医業費用	11,370,579			
職員給与費	4,779,458	41.6	56.0	57.1
材料費	2,980,995	26.0	24.1	23.9
(うち薬品費)	1,924,298	16.8	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,056,697	9.2	11.1	11.4
減価償却費	960,959	8.4	9.2	9.5
経費	2,583,038	22.5	23.2	22.0
(うち委託料)	961,531	8.4	11.3	10.8
研究研修費	62,893			
資産減耗費	3,236			
(2) 医業外費用	716,379			
(うち支払利息)	162,003	1.4	1.6	1.6
(3) 特別損失	74,001			
損益				
経常損益	101,716			
純損益	27,715			
累積欠損金	2,052,278			
経常収支比率	100.8		98.2	96.7
医業収支比率	101.0		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	6.7		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	6.3		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	94.5		86.0	85.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,117,921
1 固定資産	17,892,921
(1) 有形固定資産	17,450,078
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	442,843
2 流動資産	6,225,000
(1) 現金及び預金	4,158,732
(2) 未収金及び未収収益	2,035,708
(3) 貸倒引当金( )	5,586
(4) 貯蔵品	34,577
3 繰延資産	-
負債合計	12,133,692
1 固定負債	8,893,110
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,755,924
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	137,186
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,868,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	651,000
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	342,391
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	828,109
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,371,693
(1) 長期前受金	2,594,675
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,222,982
資本合計	11,984,229
1 資本金	6,635,902
2 剰余金	5,348,327
(1) 資本金剰余金	7,380,196
(2) 利益剰余金	-2,031,869
負債・資本合計	24,117,921
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	960,549	771,053
資本勘定繰入	399,450	358,895
計	1,359,999	1,129,948

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	京都府
		市町村・組合名	福知山市
		病院名	福知山市民病院 大江分院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,240 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 へ
診療科数	3	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	44	82.6	84.3	87.9
療養	28	95.9	97.9	97.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	72	87.8	89.6	92.8
平均在院日数(一般病床のみ)		20.0	21.0	21.0

設立団体の状況		
人口(人)	78,935	
決算規模(千円)	41,574,814	
標準財政規模(千円)	23,658,374	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	96.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	64.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.8
修正医業収支金額(千円)	652,587

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	808,432			
1 経常収益	808,432			
(1) 医業収益	652,587			
入院収益	490,396			
外来収益	147,512			
診療収入計	637,908			
その他医業収益	14,679			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	155,845			
(うち国・都道府県補助金)	524			
(うち他会計補助・負担金)	69,318			
(うち長期前受金戻入)	51,794			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	827,114			
2 経常費用	826,178			
(1) 医業費用	769,151			
職員給与費	453,550	69.5	56.0	71.8
材料費	39,173	6.0	24.1	16.5
(うち薬品費)	29,060	4.5	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	10,113	1.5	11.1	5.6
減価償却費	101,688	15.6	9.2	12.2
経費	172,334	26.4	23.2	31.2
(うち委託料)	52,919	8.1	11.3	12.3
研究研修費	2,136			
資産減耗費	270			
(2) 医業外費用	57,027			
(うち支払利息)	3,420	0.5	1.6	1.9
(3) 特別損失	936			
損益				
経常損益	-17,746			
純損益	-18,682			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.9		98.2	97.1
医業収支比率	84.8		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	8.6		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	10.6		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	8.6		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	89.5		86.0	74.9

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,117,921
1 固定資産	17,892,921
(1) 有形固定資産	17,450,078
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	442,843
2 流動資産	6,225,000
(1) 現金及び預金	4,158,732
(2) 未収金及び未収収益	2,035,708
(3) 貸倒引当金( )	5,586
(4) 貯蔵品	34,577
3 繰延資産	-
負債合計	12,133,692
1 固定負債	8,893,110
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,755,924
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	137,186
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,868,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	651,000
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	342,391
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	828,109
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,371,693
(1) 長期前受金	2,594,675
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,222,982
資本合計	11,984,229
1 資本金	6,635,902
2 剰余金	5,348,327
(1) 資本剰余金	7,380,196
(2) 利益剰余金	-2,031,869
負債・資本合計	24,117,921
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	72,478	69,318
資本勘定繰入	25,513	47,532
計	97,991	116,850

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	京都府
	市町村・組合名	舞鶴市
	病院名	舞鶴市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	100	94.7	93.1	90.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	94.7	93.1	90.9
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	83,990	
決算規模(千円)	35,146,736	
標準財政規模(千円)	19,272,601	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	96.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	107.2

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	4,671 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	へ
診療科数	4	看護配置	20:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.2
修正医業収支金額(千円)	730,611

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	944,128			
1 経常収益	923,684			
(1) 医業収益	730,611			
入院収益	674,938			
外来収益	40,472			
診療収入計	715,410			
その他医業収益	15,201			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	193,073			
(うち国・都道府県補助金)	739			
(うち他会計補助・負担金)	143,191			
(うち長期前受金戻入)	27,737			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	20,444			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	944,128			
2 経常費用	942,469			
(1) 医業費用	911,398			
職員給与費	629,763	86.2	56.0	61.8
材料費	57,096	7.8	24.1	17.7
(うち薬品費)	25,287	3.5	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	23,853	3.3	11.1	8.2
減価償却費	82,363	11.3	9.2	10.4
経費	135,495	18.5	23.2	29.9
(うち委託料)	66,543	9.1	11.3	12.9
研究研修費	6,569			
資産減耗費	112			
(2) 医業外費用	31,071			
(うち支払利息)	14,673	2.0	1.6	1.7
(3) 特別損失	1,659			
損益				
経常損益	-18,785			
純損益	-			
累積欠損金	352,710			
経常収支比率	98.0		98.2	96.7
医業収支比率	80.2		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	15.5		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	19.6		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	15.2		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	82.8		86.0	80.7

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,516,105
1 固定資産	1,905,507
(1) 有形固定資産	1,860,062
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	45,445
2 流動資産	610,598
(1) 現金及び預金	265,529
(2) 未収金及び未収収益	343,274
(3) 貸倒引当金( )	1,406
(4) 貯蔵品	754
3 繰延資産	-
負債合計	1,530,820
1 固定負債	1,214,385
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,131,286
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	83,099
(7) リース債務	-
2 流動負債	175,060
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	67,183
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	89,098
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	141,375
(1) 長期前受金	282,696
(2) 長期前受金収益化累計額( )	141,321
資本合計	985,285
1 資本金	876,467
2 剰余金	108,818
(1) 資本金剰余金	422,528
(2) 利益剰余金	-313,710
負債・資本合計	2,516,105
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	68,547	143,191
資本勘定繰入	33,839	33,624
計	102,386	176,815

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	48.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	京都府
	市町村・組合名	綾部市
	病院名	綾部市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	17,662 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨へ
診療科数	21	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	206	86.3	87.3	84.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	206	86.3	87.3	84.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.3	17.8	17.3

設立団体の状況		
人口(人)	33,821	
決算規模(千円)	16,772,869	
標準財政規模(千円)	9,567,850	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	91.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	109.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	98.1
修正医業収支金額(千円)	6,280,034

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,546,740			
1 経常収益	6,545,869			
(1) 医業収益	6,355,194			
入院収益	3,166,649			
外来収益	2,923,553			
診療収入計	6,090,202			
その他医業収益	264,992			
(うち他会計負担金)	75,160			
(2) 医業外収益	190,675			
(うち国・都道府県補助金)	15,228			
(うち他会計補助・負担金)	60,463			
(うち長期前受金戻入)	38,585			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	871			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,545,407			
2 経常費用	6,518,638			
(1) 医業費用	6,402,271			
職員給与費	16,599	0.3	56.0	59.3
材料費	-	-	24.1	19.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	9.2
減価償却費	339,027	5.3	9.2	10.3
経費	6,038,000	95.0	23.2	27.6
(うち委託料)	1,263	-	11.3	12.3
研究研修費	-			
資産減耗費	8,645			
(2) 医業外費用	116,367			
(うち支払利息)	38,637	0.6	1.6	1.7
(3) 特別損失	26,769			
損益				
経常損益	27,231			
純損益	1,333			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.4		98.2	96.7
医業収支比率	99.3		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	2.1		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	2.1		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	2.1		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	98.3		86.0	83.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,471,833
1 固定資産	6,628,335
(1) 有形固定資産	5,719,767
(2) 無形固定資産	3,156
(3) 投資その他の資産	905,412
2 流動資産	1,843,498
(1) 現金及び預金	637,914
(2) 未収金及び未収収益	1,223,826
(3) 貸倒引当金( )	27,581
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,929,432
1 固定負債	1,620,699
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,620,699
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	534,482
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	130,864
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,289
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	396,329
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	774,251
(1) 長期前受金	1,501,309
(2) 長期前受金収益化累計額( )	727,058
資本合計	5,542,401
1 資本金	3,018,930
2 剰余金	2,523,471
(1) 資本金剰余金	149,382
(2) 利益剰余金	2,374,089
負債・資本合計	8,471,833
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	196,848	135,623
資本勘定繰入	83,480	45,673
計	280,328	181,296

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	京都府
	市町村・組合名	亀岡市
	病院名	市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	9,947 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	14	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	100	79.4	79.6	72.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	79.4	79.6	72.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.7	16.2	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	89,479	
決算規模(千円)	32,823,164	
標準財政規模(千円)	18,773,029	
財政力指数	0.59	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.4
	将来負担比率(%)	126.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.1
修正医業収支金額(千円)	2,021,639

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,591,228			
1 経常収益	2,591,228			
(1) 医業収益	2,142,739			
入院収益	1,325,280			
外来収益	642,494			
診療収入計	1,967,774			
その他医業収益	174,965			
(うち他会計負担金)	121,100			
(2) 医業外収益	448,489			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	354,269			
(うち長期前受金戻入)	10,516			
(うち資本費繰入収益)	74,631			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,578,286			
2 経常費用	2,521,486			
(1) 医業費用	2,404,110			
職員給与費	1,331,383	62.1	56.0	61.8
材料費	490,335	22.9	24.1	17.7
(うち薬品費)	184,133	8.6	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	306,202	14.3	11.1	8.2
減価償却費	191,722	8.9	9.2	10.4
経費	384,416	17.9	23.2	29.9
(うち委託料)	261,418	12.2	11.3	12.9
研究研修費	5,305			
資産減耗費	949			
(2) 医業外費用	117,376			
(うち支払利息)	46,288	2.2	1.6	1.7
(3) 特別損失	56,800			
損益				
経常損益	69,742			
純損益	12,942			
累積欠損金	882,367			
経常収支比率	102.8		98.2	96.7
医業収支比率	89.1		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	18.3		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	22.2		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	18.3		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	83.9		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,016,393
1 固定資産	2,576,480
(1) 有形固定資産	2,576,480
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	439,913
(1) 現金及び預金	38,189
(2) 未収金及び未収収益	385,007
(3) 貸倒引当金( )	1,255
(4) 貯蔵品	17,800
3 繰延資産	-
負債合計	3,542,767
1 固定負債	2,769,627
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,581,995
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	187,632
(7) リース債務	-
2 流動負債	595,952
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	202,741
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	77,784
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	80,000
(8) 未払金及び未払費用	234,827
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	177,188
(1) 長期前受金	231,314
(2) 長期前受金収益化累計額( )	54,126
資本合計	-526,374
1 資本金	355,993
2 剰余金	-882,367
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-882,367
負債・資本合計	3,016,393
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	526,374
資本不足額(繰延収益控除後)( )	349,186
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	325,369	475,369
資本勘定繰入	74,631	74,631
計	400,000	550,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	41.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	京都府
				市町村・組合名	京丹後市
				病院名	京丹後市立弥栄病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	15,589 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨へ		
診療科数	19	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	150	68.0	80.2	78.6
療養	49	86.3	83.6	83.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	72.5	81.0	79.9
平均在院日数(一般病床のみ)		19.2	19.1	18.7

設立団体の状況		
人口(人)	55,054	
決算規模(千円)	34,242,437	
標準財政規模(千円)	20,081,573	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	127.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.0
修正医業収支金額(千円)	3,364,936

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,909,607			
1 経常収益	3,895,689			
(1) 医業収益	3,584,591			
入院収益	1,684,986			
外来収益	1,510,994			
診療収入計	3,195,980			
その他医業収益	388,611			
(うち他会計負担金)	219,655			
(2) 医業外収益	311,098			
(うち国・都道府県補助金)	15,114			
(うち他会計補助・負担金)	147,291			
(うち長期前受金戻入)	119,379			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,918			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,499,937			
2 経常費用	4,234,095			
(1) 医業費用	4,052,601			
職員給与費	1,807,773	50.4	56.0	61.8
材料費	1,034,820	28.9	24.1	17.7
(うち薬品費)	717,199	20.0	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	280,706	7.8	11.1	8.2
減価償却費	251,679	7.0	9.2	10.4
経費	933,005	26.0	23.2	29.9
(うち委託料)	277,163	7.7	11.3	12.9
研究研修費	12,467			
資産減耗費	12,857			
(2) 医業外費用	181,494			
(うち支払利息)	35,368	1.0	1.6	1.7
(3) 特別損失	265,842			
損益				
経常損益	-338,406			
純損益	-590,330			
累積欠損金	1,291,889			
経常収支比率	92.0		98.2	96.7
医業収支比率	88.5		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	9.4		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	10.2		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	9.4		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	83.3		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,481,655
1 固定資産	9,047,819
(1) 有形固定資産	8,571,485
(2) 無形固定資産	2,850
(3) 投資その他の資産	473,484
2 流動資産	1,433,836
(1) 現金及び預金	429,527
(2) 未収金及び未収収益	1,021,981
(3) 貸倒引当金( )	38,229
(4) 貯蔵品	20,446
3 繰延資産	-
負債合計	10,575,507
1 固定負債	7,364,456
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,183,396
(2) その他の企業債	149,459
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	31,601
2 流動負債	2,085,129
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	512,652
(2) その他の企業債	14,810
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	230,169
(6) リース債務	11,529
(7) 一時借入金	970,000
(8) 未払金及び未払費用	335,778
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,125,922
(1) 長期前受金	4,373,140
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,247,218
資本合計	-93,852
1 資本金	496,753
2 剰余金	-590,605
(1) 資本金剰余金	2,326,186
(2) 利益剰余金	-2,916,791
負債・資本合計	10,481,655
不良債務	138,641
実質資金不足額	138,641
資本不足額(繰延収益控除後)( )	93,852
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	379,090	366,946
資本勘定繰入	114,474	119,523
計	493,564	486,469

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	138,641	2.3
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.9
健全化法上の資金不足額(千円)	288,100
健全化法上の資金不足比率(%)	4.7
地財法上の資金不足額(千円)	288,100
地財法上の資金不足比率(%)	4.7

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	京都府
	市町村・組合名	京丹後市
	病院名	京丹後市立久美浜病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	9,602 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 へ
診療科数	14	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	110	90.3	87.3	85.9
療養	60	87.2	88.2	90.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	170	89.2	87.6	87.4
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	13.2	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	55,054	
決算規模(千円)	34,242,437	
標準財政規模(千円)	20,081,573	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	127.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.1
修正医業収支金額(千円)	2,335,216

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,818,291			
1 経常収益	2,768,032			
(1) 医業収益	2,507,391			
入院収益	1,508,586			
外来収益	746,399			
診療収入計	2,254,985			
その他医業収益	252,406			
(うち他会計負担金)	172,175			
(2) 医業外収益	260,641			
(うち国・都道府県補助金)	12,593			
(うち他会計補助・負担金)	113,849			
(うち長期前受金戻入)	103,039			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	50,259			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,788,834			
2 経常費用	2,785,534			
(1) 医業費用	2,679,780			
職員給与費	1,543,585	61.6	56.0	61.8
材料費	327,268	13.1	24.1	17.7
(うち薬品費)	134,720	5.4	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	157,968	6.3	11.1	8.2
減価償却費	175,379	7.0	9.2	10.4
経費	618,584	24.7	23.2	29.9
(うち委託料)	265,199	10.6	11.3	12.9
研究研修費	14,964			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	105,754			
(うち支払利息)	35,460	1.4	1.6	1.7
(3) 特別損失	3,300			
損益				
経常損益	-17,502			
純損益	29,457			
累積欠損金	1,624,902			
経常収支比率	99.4		98.2	96.7
医業収支比率	93.6		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	10.3		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	11.4		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	10.1		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	89.1		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,481,655
1 固定資産	9,047,819
(1) 有形固定資産	8,571,485
(2) 無形固定資産	2,850
(3) 投資その他の資産	473,484
2 流動資産	1,433,836
(1) 現金及び預金	429,527
(2) 未収金及び未収収益	1,021,981
(3) 貸倒引当金( )	38,229
(4) 貯蔵品	20,446
3 繰延資産	-
負債合計	10,575,507
1 固定負債	7,364,456
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,183,396
(2) その他の企業債	149,459
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	31,601
2 流動負債	2,085,129
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	512,652
(2) その他の企業債	14,810
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	230,169
(6) リース債務	11,529
(7) 一時借入金	970,000
(8) 未払金及び未払費用	335,778
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,125,922
(1) 長期前受金	4,373,140
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,247,218
資本合計	-93,852
1 資本金	496,753
2 剰余金	-590,605
(1) 資本金剰余金	2,326,186
(2) 利益剰余金	-2,916,791
負債・資本合計	10,481,655
不良債務	138,641
実質資金不足額	138,641
資金不足額( )	93,852
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	309,898	286,024
資本勘定繰入	113,547	154,727
計	423,445	440,751

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	138,641	2.3
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.9
健全化法上の資金不足額(千円)	288,100
健全化法上の資金不足比率(%)	4.7
地財法上の資金不足額(千円)	288,100
地財法上の資金不足比率(%)	4.7

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	京都府
	市町村・組合名	精華町
	病院名	国保病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	50	91.9	95.6	95.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	91.9	95.6	95.5
平均在院日数(一般病床のみ)		30.4	32.5	26.0

設立団体の状況		
人口(人)	36,376	
決算規模(千円)	12,992,153	
標準財政規模(千円)	8,253,018	
財政力指数	0.75	
経常収支比率(%)	98.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.1
	将来負担比率(%)	115.6

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	2,910 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	10	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	27,892			
1 経常収益	27,892			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	27,892			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	9,922			
(うち長期前受金戻入)	17,180			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	41,081			
2 経常費用	41,081			
(1) 医業費用	41,080			
職員給与費	8,420	-	56.0	71.8
材料費	-	-	24.1	16.5
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.6
減価償却費	30,278	-	9.2	12.2
経費	2,278	-	23.2	31.2
(うち委託料)	1,385	-	11.3	12.3
研究研修費	-			
資産減耗費	104			
(2) 医業外費用	1			
(うち支払利息)	1	-	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-13,189			
純損益	-13,189			
累積欠損金	-			
経常収支比率	67.9		98.2	97.1
医業収支比率	-		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	35.6		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	35.6		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	43.7		86.0	74.9

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	636,322
1 固定資産	617,679
(1) 有形固定資産	616,728
(2) 無形固定資産	951
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	18,643
(1) 現金及び預金	1,039
(2) 未収金及び未収収益	17,604
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	346,245
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	8,618
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	777
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	7,841
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	337,627
(1) 長期前受金	776,720
(2) 長期前受金収益化累計額( )	439,093
資本合計	290,077
1 資本金	77,450
2 剰余金	212,627
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	212,627
負債・資本合計	636,322
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	272	9,922
資本勘定繰入	4,058	8,116
計	4,330	18,038

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	京都府
	市町村・組合名	京丹波町
	病院名	国保京丹波町病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,436 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 へ
診療科数	8	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	47	45.8	59.8	62.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	47	45.8	59.8	62.1
平均在院日数(一般病床のみ)		20.6	20.1	20.9

設立団体の状況		
人口(人)	14,453	
決算規模(千円)	11,061,012	
標準財政規模(千円)	6,619,087	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.8
	将来負担比率(%)	141.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	56.6
修正医業収支金額(千円)	531,282

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	854,126			
1 経常収益	854,126			
(1) 医業収益	565,879			
入院収益	188,145			
外来収益	288,806			
診療収入計	476,951			
その他医業収益	88,928			
(うち他会計負担金)	34,597			
(2) 医業外収益	288,247			
(うち国・都道府県補助金)	15,336			
(うち他会計補助・負担金)	236,108			
(うち長期前受金戻入)	20,512			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	971,248			
2 経常費用	971,248			
(1) 医業費用	939,233			
職員給与費	612,199	108.2	56.0	81.3
材料費	52,128	9.2	24.1	14.4
(うち薬品費)	31,041	5.5	12.6	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,846	2.8	11.1	5.1
減価償却費	85,915	15.2	9.2	13.4
経費	187,456	33.1	23.2	47.5
(うち委託料)	108,731	19.2	11.3	20.0
研究研修費	1,535			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	32,015			
(うち支払利息)	8,008	1.4	1.6	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-117,122			
純損益	-117,122			
累積欠損金	294,866			
経常収支比率	87.9		98.2	96.3
医業収支比率	60.2		88.3	63.4
他会計繰入金対経常収益比率	31.7		12.5	32.8
他会計繰入金対医業収益比率	47.8		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	31.7		12.5	33.3
実質収益対経常費用比率	60.1		86.0	64.8

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,003,009
1 固定資産	1,589,651
(1) 有形固定資産	1,543,024
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	46,627
2 流動資産	413,358
(1) 現金及び預金	299,188
(2) 未収金及び未収収益	110,548
(3) 貸倒引当金( )	2,607
(4) 貯蔵品	6,229
3 繰延資産	-
負債合計	835,596
1 固定負債	489,553
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	489,553
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	132,592
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	55,843
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33,956
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	42,793
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	213,451
(1) 長期前受金	397,686
(2) 長期前受金収益化累計額( )	184,235
資本合計	1,167,413
1 資本金	1,424,073
2 剰余金	-256,660
(1) 資本金剰余金	32,516
(2) 利益剰余金	-289,176
負債・資本合計	2,003,009
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	268,019	270,705
資本勘定繰入	30,600	30,600
計	298,619	301,305

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	52.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度)	都道府県名	京都府
	市町村・組合名	国民健康保険南丹病院組合
	病院名	京都中部総合医療センター

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	33,447 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感へ災地
診療科数	31	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	450	71.7	72.0	72.5
療養	-	-	-	-
結核	10	14.9	19.3	14.4
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	464	69.8	70.2	70.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	15.1	15.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.2
修正医業収支金額(千円)	9,700,994

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,737,380			
1 経常収益	10,737,380			
(1) 医業収益	9,810,994			
入院収益	6,276,376			
外来収益	3,187,049			
診療収入計	9,463,425			
その他医業収益	347,569			
(うち他会計負担金)	110,000			
(2) 医業外収益	926,386			
(うち国・都道府県補助金)	42,028			
(うち他会計補助・負担金)	153,406			
(うち長期前受金戻入)	50,734			
(うち資本費繰入収益)	458,312			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,734,411			
2 経常費用	10,734,411			
(1) 医業費用	10,089,174			
職員給与費	5,135,724	52.3	56.0	54.1
材料費	2,169,431	22.1	24.1	26.3
(うち薬品費)	945,909	9.6	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,223,522	12.5	11.1	12.3
減価償却費	804,520	8.2	9.2	8.3
経費	1,943,821	19.8	23.2	19.0
(うち委託料)	1,124,862	11.5	11.3	9.1
研究研修費	32,170			
資産減耗費	3,508			
(2) 医業外費用	645,237			
(うち支払利息)	60,751	0.6	1.6	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	2,969			
純損益	2,969			
累積欠損金	509,662			
経常収支比率	100.0		98.2	99.3
医業収支比率	97.2		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	2.5		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	2.7		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	2.5		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	97.6		86.0	89.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,567,777
1 固定資産	11,705,935
(1) 有形固定資産	8,958,310
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	2,747,625
2 流動資産	3,861,842
(1) 現金及び預金	1,372,146
(2) 未収金及び未収収益	2,476,088
(3) 貸倒引当金( )	17,790
(4) 貯蔵品	28,703
3 繰延資産	-
負債合計	6,814,105
1 固定負債	3,573,767
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,573,767
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,991,184
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	708,794
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	339,504
(6) リース債務	483
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	866,945
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,249,154
(1) 長期前受金	2,152,691
(2) 長期前受金収益化累計額( )	903,537
資本合計	8,753,672
1 資本金	7,738,988
2 剰余金	1,014,684
(1) 資本剰余金	1,001,346
(2) 利益剰余金	13,338
負債・資本合計	15,567,777
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	653,635	263,406
資本勘定繰入	458,312	458,312
計	1,111,947	721,718

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度 )</b>				都道府県名	京都府
				市町村・組合名	国民健康保険山城病院組合
				病院名	京都山城総合医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,992 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 感 災 地		
診療科数	25	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	311	73.1	72.4	70.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	10	-	-	-
計	321	70.8	70.2	68.0
平均在院日数（一般病床のみ）		13.3	13.0	13.1

設立団体の状況	
人口（人）	-
決算規模（千円）	-
標準財政規模（千円）	-
財政力指数	-
経常収支比率（%）	-
健全化判断比率	実質赤字比率（%）
	連結実質赤字比率（%）
	実質公債費比率（%）
	将来負担比率（%）

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	96.3
修正医業収支金額（千円）	6,712,539

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,360,636			
1 経常収益	7,360,302			
(1) 医業収益	6,768,458			
入院収益	4,295,990			
外来収益	2,148,995			
診療収入計	6,444,985			
その他医業収益	323,473			
(うち他会計負担金)	55,919			
(2) 医業外収益	591,844			
(うち国・都道府県補助金)	36,891			
(うち他会計補助・負担金)	311,035			
(うち長期前受金戻入)	115,715			
(うち資本費繰入収益)	88,546			
(3) 特別利益	334			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,357,119			
2 経常費用	7,328,656			
(1) 医業費用	6,969,484			
職員給与費	3,374,360	49.9	56.0	57.1
材料費	1,633,665	24.1	24.1	23.9
(うち薬品費)	818,760	12.1	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	762,461	11.3	11.1	11.4
減価償却費	444,783	6.6	9.2	9.5
経費	1,492,662	22.1	23.2	22.0
(うち委託料)	596,820	8.8	11.3	10.8
研究研修費	19,670			
資産減耗費	4,344			
(2) 医業外費用	359,172			
(うち支払利息)	94,942	1.4	1.6	1.6
(3) 特別損失	28,463			
損益				
経常損益	31,646			
純損益	3,517			
累積欠損金	583,791			
経常収支比率	100.4		98.2	96.7
医業収支比率	97.1		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	5.0		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	5.4		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	5.0		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	95.4		86.0	85.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	10,073,359
1 固定資産	7,293,643
(1) 有形固定資産	6,847,600
(2) 無形固定資産	628
(3) 投資その他の資産	445,415
2 流動資産	2,779,716
(1) 現金及び預金	1,578,141
(2) 未収金及び未収収益	1,112,041
(3) 貸倒引当金（ ）	1,328
(4) 貯蔵品	90,862
3 繰延資産	-
負債合計	6,394,187
1 固定負債	4,101,235
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,101,235
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,310,517
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	542,245
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	202,393
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	541,919
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	982,435
(1) 長期前受金	2,133,861
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,151,426
資本合計	3,679,172
1 資本金	4,262,963
2 剰余金	-583,791
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-583,791
負債・資本合計	10,073,359
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	466,413	366,954
資本勘定繰入	342,892	239,472
計	809,305	606,426

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	8.6
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。